

日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。
一方で、近年では全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。

国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。

本講義では、各分野の専門家をお招きし、日本の食料や農業の
現状と課題についてお話しいたします。

これからの食と農について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

受講者の声

教育学部

後継者不足や自給率低下などの問題もあるが、それ以上に今現在行われている農業の多種多様な取り組みにすごく興味をひかれた。

経済学部

毎回様々なゲスト講師にお越しいただき、主に農業現場の生の意見を聞くことができた。15回すべてに興味を持ちながら出席することができた。

システム工学部

これから専門的な知識を学び、その知識を活かし、将来は、日本の農業を救っていきけるようなモノづくりをしていきたいと思う。

観光学部

これまで農業には興味がなかったが、授業で毎週学ぶことで農業について考えることが増えた。農業に興味を持つきっかけになったと思う。

社会人

食と農について、改めて考え直すよい機会となった。また、現役の大学生の考えを聞く機会があれば、さらによいと思う。

受講者の声は、
リアクションペーパー
より抜粋して
います。

申込み・申込みに関するお問い合わせ

出願期間

令和4年9月1日～9月5日

出願先

和歌山大学学務課教育推進係

☎ 073-457-7130

出願方法

https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/open/open_r4zenki.html

講義内容へのお問い合わせ

和歌山大学 食農総合研究教育センター

☎ 073-457-7126

✉ food-agri@ml.wakayama-u.ac.jp

<https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/>

本センターは、旧食農総合研究所における取り組みを土台としながら、本学が地域連携機能の一元化と強化を目指して設置した「和歌山大学紀伊半島価値共創基幹」の一つの柱を担う組織として新たなスタートを切ることになりました。本センターでは、「都市農村交流・地域資源活用・ICT活用」の3つの研究教育領域を核として、食と農林水産業の分野にかかわる学術研究の発展はもとより、地域社会と大学との連携を強化し、培われた教育研究成果を地域課題解決に役立てることができるよう努めています。